

12 月 2 日午前 6 時 44 分に発生しました地震について行政報告を申し上げます。

今回の地震は、札幌市清田区を震源地とするマグニチュード 4.5、深さ 10 キロメートルという内陸型地震で、共栄の札幌管区気象台の震度計は 3 と観測されましたが、その後の調査で、震源地では震度 5、震源地に近い大曲で震度 4 相当の地震があったものと想定されるとの発表がありました。

主な被害といたしましては、大曲小学校の校舎・体育館の窓ガラス 47 枚がひび割れ、また、大曲中学校では体育館の天井パネル 5 枚が落下し、落下の危険性のあるパネルが 15 枚確認され、校舎・体育館の窓ガラス 10 枚がひび割れたところであります。

さらに、大曲ふれあいプラザでは内壁及び天井に亀裂や剥離が発生し、大曲会館、資源リサイクルセンター、農民研修センター等の施設でも軽微ではありますが被害が出るなど、本市としては、近年にない地震による被害があったところであります。

これらの施設の被災箇所の復旧につきましては、特に、緊急を要する大曲小学校及び中学校の修復費 245 万 5,000 円を 12 月 3 日に予備費充当し、対応したところであります。

なお、その他施設につきましては、修復方法等も精査し、今後、対応してまいりたいと考えております。

また、住宅や民間事業所等においても被害が及んでいるところであり、現在、震源地に近い大曲・西の里・輪厚の各町内会や大曲一帯の事業所に対して、地震の情報をお知らせするとともに、被災状況の調査を継続して行っているところであります。

今後とも、札幌管区気象台や北海道大学の地震火山研究観測センター等の専門機関との連携や情報収集に努め、議会や市民の皆様へ情報を提供してまいりたいと考えております。

以上、申し上げ、行政報告といたします。